

○11番 古野峻徳君

行橋中学校2年、古野峻徳です。私は、学校の劣化について質問します。

まずは写真を見てください。僕の学校では、建物や机などが傷付いています。具体的には、技術室の机に釘が刺さっていたり、理科室には薬品がこぼれて変色しています。また建物内の廊下の天井がひび割れていたり、雨漏りになっていて、雨水が垂れています。執行部は、写真を見て、どう思いますでしょうか。

○後半議長 渡部稜君

執行部に答弁を求めます。

市長。

○市長 工藤政宏君

お答えいたします。だいたい年季が入っているなど率直に思いますね。そして同時に、ちょっとこれは危険かなと思うところも、例えば技術室の机なども、手の置き方を間違えると、ひょっとしたら切るかもしれないなど、そういったことも思います。

こういった部分、そもそも学校というものが大体築50年前後経っているものがほとんどでございますので、そういった意味では、歴代の先輩方、皆さん方の先輩方も大切に使ってきていただいたと思うのですが、それでもやはり老朽化が進んでいるなどという実態を、改めて再認識させていただきました。

この老朽化は行橋市に限らず全国で進んでいることではございますが、市長・執行部としましては、こういったところ、安全性とか緊急性、そういった優先順位を見ていかなければなりませんけれども、必要な予算をしっかりと付けていきたいと思っています。

教育長からも答弁させていただきますので、よろしくお願いいたします。

○後半議長 渡部稜君

教育長。

○教育長 山田英俊君

私からも答弁をさせていただこうと思います。これまで老朽化・劣化した学校の施設については、修繕をしたり、あるいは改修工事等をするなどしてきております。

その修理をする際の優先順位がございまして、1つは、児童・生徒の皆さんの安全に係るものが最優先であります。その次に、授業や学校行事といった学校運営に関し支障をきたす場合が次であります。そして、最後に汚れや見た目が悪いといった所の順で修理をしているところであります。

今回、教えていただいた老朽化あるいは劣化した箇所も、必要に応じて修理するなど、今後対応してまいりたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。以上であります。

○後半議長 渡部稜君

古野議員。

○11番 古野峻徳君

写真の天井のひび割れ部分とそうでない部分を比べると、そうでない部分のほうが見た目がよく、危ないと感じずに安心することができます。

最近では地震もあり、いつ崩れるか、とてもとても不安で仕方ありません。執行部は、どのようにすればいいと思いますでしょうか。

○後半議長 渡部稜君

執行部に答弁を求めます。

市長。

○市長 工藤政宏君

改めまして、いま議員からもお話がありました、やはり安心という言葉がキーワードだと思います。安全が保たれているからこそ安心を感じるわけでありまして、我々大人の務めとしては、皆さんが安心して学習ができる、その環境をつくっていくことに努めるべきだと、そのように考えております。

実際、後はそのスピードの問題だったり、やはり安全性、本当に危ない所から手を付けていかなければいけないと思っておりますので、全てにおいて、ひょっとしたら議員のご要望にすぐにお応えできないところもあるかもしれませんが、先ほど申し上げました学校現場の先生方、そして教育委員会がここを整備する、修繕するといったところがありましたら、我々執行部としましては、基本的には全て予算を付ける、それくらいのつもりで前向きに取り組んでまいりたいと思います。以上です。

○後半議長 渡部稜君

古野議員。

○11番 古野峻徳君

ありがとうございました。次の質問に移ります。

次に、不登校児童について質問します。自分の友達が不登校で、たまにしか学校に来たりしていません。学校では、いじめのアンケートをとったりしていますが、不登校の人はアンケートなどを受けていません。この他にも不登校の人たちにしてあげられることはないのでしょうか。執行部はどのようにお考えでしょうか。

○後半議長 渡部稜君

執行部に答弁を求めます。

教育長。

○教育長 山田英俊君

不登校の生徒へのアンケートについて、お答えいたします。各学校は、毎月、いじめアンケートまたは生活アンケート等を行っています。アンケートをする日に欠席してい

る児童・生徒については、別の日に実施する学校もあれば、欠席が続くと実施できないままの学校もあるようです。

不登校と聞くと、全く、あるいはほとんど登校していないと思われるかもしれませんが、年間30日以上になると不登校ということになります。不登校や不登校兆候の児童・生徒でも、登校できたときはアンケートをしている児童・生徒もかなりいると思います。以上であります。

○後半議長 渡部稜君

古野議員。

○11番 古野峻徳君

僕は、学校で受ける紙のアンケートを減らし、i P a dを使ったアンケートを増やせばいいと思います。i P a dのアンケートにすることで、家で受けることができ、誰かに見られるということがありません。

そこで紙のアンケートとi P a dアンケートを半分ずつ使うことを提案します。執行部はどのようにお考えでしょうか。

○後半議長 渡部稜君

執行部に答弁を求めます。

教育長。

○教育長 山田英俊君

ご提案、ありがとうございます。アンケートの方法につきましては、内容によって、アンケートを紙でしたり、あるいはタブレットでしたりと、学校に来ていない児童・生徒に対して、各学校が工夫をして行っているところであります。

議員が言われるように、アンケートを実施する日や時間に欠席していても、タブレットを活用すれば家庭からでも実施が可能となりますので、今後、タブレットをさらに活用して学校側と協議した上で検討してまいりたいと考えております。以上であります。

○後半議長 渡部稜君

古野議員。

○11番 古野峻徳君

ありがとうございます。

やはりいつ地震がくるか分からないので、できる限り早く実現するようお願いします。

以上で質問を終わります。